

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	重要港湾舞鶴港 京都舞鶴港「海の	階数	地上1F
建設地	京都府 舞鶴市 下安久1040	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年4月10日
敷地面積	47,756 m ²	作成者	岡部 恵一郎
建築面積	2,038 m ²	確認日	2018年4月10日
延床面積	2,096 m ²	確認者	岡部 恵一郎

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.4 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Qのスコア = 2.1		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 1.8 音環境: 1.0, 温熱環境: 1.0, 光・視環境: 2.3, 空気質環境: 2.9	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6 機能性: 1.7, 耐用性: 2.9, 対応性: 3.6	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.9 生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性・地域性: 1.9
LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.1		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 1.0 建物外皮の: 1.0, 自然エネ: N.A., 設備システ: N.A., 効率的: 1.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3 水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.9, 汚染物質: 5.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.6 地球温暖化: N.A., 地域環境: 3.0, 周辺環境: 2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 簡素でローコスト、維持管理がしやすく、機能的な倉庫建築とした。陸屋根とせず、こう配屋根形態とし、日本海側の多雨、多雪といった気象条件に対し使いやすく、耐久性の高い建築とした。倉庫の搬入口側の庇の出を深くし、作業のしやすさに配慮した。		その他 太陽光発電パネルの稼働状況がモニターできるディスプレイアクセス道路に面して設け、再生可能エネルギー利用の啓発に努める。
Q1 室内環境 仕上げ材は無く、構造材現わしの堅牢な構造とした。壁面開口部が少ないため、トップライトによる採光を設けた。高い天井を利用し、ベンチレーターを換気重力式の換気を工夫した。照明はLEDランプとし、使用電力の選	Q2 サービス性能 フォークリフト用のコンセントを配置する等、機能に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) トレーラーの往来やコンテナの取り扱いがあるため、隣棟間隔を広く取った。
LR1 エネルギー 空調設備、給排水衛生設備を備えていない。太陽光は発電パネルを建物わきに設置した。	LR2 資源・マテリアル 使用材料が非常に少ない中で、リサイクル材の利用や、京都府内産の木材の利用を行った。	LR3 敷地外環境 他の建築と色彩や形態をそろえるよう配慮した。塩害を受けやすいため、外部の金属材料は、ステンレスやアルミ合金のさびにくいものを利用した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される